

大山パークウェイを座標軸にした地域の魅力アッププロジェクト 報告書・概要編

(1) 実施団体名 NPO法人大山中海観光推進機構(大山王国)

(2) 対象地域 鳥取県米子市、境港市、大山町、伯耆町、南部町、日吉津村、琴浦町、江府町、鳥根県松江市(美保関)、岡山県真庭市(蒜山高原)

(3) 事業の概要

昨年度から始まった「大山パークウェイ」の取り組みは、10市町村(鳥取、岡山、鳥根)、関係観光協会、さらに鳥取県に参加いただき、協働で事業を進めることができました。県境を跨ぐ広域観光活性化に向けてエリア全体で共通の認識が持てるようになり、想定以上の成果を得ることができました。

2年目の本年度は、Ⅰ)浸透を図るための継続した取り組み。Ⅱ)滞在客をターゲットにした新旅行商品の造成と受け入れ体制の整備。Ⅲ)案内標識等の整備。の3項目の事業を取り組みました。

Ⅰ) 浸透を図るための継続した取り組み。

- ・大山パークウェイの魅力伝えるエリアガイド(滞在計画)の制作。
24ページの冊子1万部を発行。これまで使用されていない新鮮で美しい写真を多用し、パークウェイ沿線の景観、アクティビティーの魅力などを伝える。
- ・大山パークウェイサマーキャンペーン(夏、秋実施)
(携帯スタンプラリー7/18-9/27, 10/20-11/23) マップをかねたチラシ製作・配布。
- ・大山パークウェイフォーラム全体会の実施
(9/19皆生温泉でパークウェイ/フォーラム)新イベント「SEA TO SUMITT」の主要プログラムとして実施。フォーラムでナチュラリスト・C. W. ニコル氏の講演等。

Ⅱ) 滞在客をターゲットにした新旅行商品の造成と受け入れ体制の整備。

- ・新滞在型旅行商品の開発。
「大山スピリチュアルウォーク」、「大山絶景ダウンヒルサイクリング」を開発し、モニターツアー実施。具体的に商品化決まる。
- ・大山パークウェイの県外各メディア、旅行会社などにプロモーション実施。
じゃらん等旅行情報誌、各報道機関でパブリシティーによるPRができた。
- ・大山パークウェイモデルツアーの実施。旅行会社向けに企画したパークウェイ等を走るモデルドライブツアー「湯〜らんバス/タクシー」を運行。(9/19-12/13)
- ・皆生温泉と大山にツアーの受け入れ窓口の設置。
新滞在型プログラム実施の協力体制の仕組み作りを行った。

Ⅲ) 案内標識等の整備

- ・各観光スポットにQRコード案内シール設置。
各観光スポットのガイドの他、パークウェイ沿線のイベント情報なども情報提供。
- ・野立て看板の設置。
沿線に13ヶ所に設置し、大山パークウェイの道案内、PRを沿線で実施。
- ・大山パークウェイ沿線の道路標識支柱に案内ステッカー大量掲出。
パークウェイ案内のステッカーを約300枚貼り付け。各施設にも200枚掲出。
- ・大山パークウェイの標識整備について、県市町村に働きかけ。
来年度、大山パークウェイの道路標識表示など県として整備することが決まる。

● 取り組みの成果・反省点等

- ・21年度事業は、20年度の活動で地域に認知いただいていたこともあり、ほぼ想定どおりの活動ができた。目標については、ケータイスタンプラリーの件数、入込数の増加について、目標を下回ったが、他の活動の中でその数字をカバーし、可能性を確認することができ、次につながる事となった。
- ・21年度はパークウェイ協議会自らでなく、参加する各団体が独自のイベント(とっとりバーガーフェスタ、野外コンサート等)を、大山パークウェイを意識して組み立て、展開いただいたこともあり、地域のなかでその存在を強くアピールできた。パークウェイの活動が今後の当エリア観光活性化の中心軸のひとつとして、きちんと官民で広く認識いただけることとなった。
- ・エリアガイド冊子「大山パークウェイ滞在計画」は新しく撮りおろした写真を多用し、強力なPRツールになった。
- ・今後は日本一の絶景ドライブコースを目指し、道路、展望ポイント等の改良などについて、取り組みを進める。

